



PROFILE ルドルフ・マイスター

Rudolf Meister

1963年ハイデルベルグ生まれ。

パウル・バドゥラ＝スコダ氏のアシスタントとして、ウィーン音楽大学で教えた後、26歳でマンハイム音楽芸術大学の教授に任命され、34歳の若さで学長に就任。マスターコースをドイツ国内ゴスラー、オーストリア、イタリア、スペイン、ポーランド、ブルガリア、イギリス、ギリシャ、アメリカ、韓国、中国、日本でこなしている。門下生の中にはARDミュンヘン国際コンクールピアノデュオ、ルービンシュタイン国際コンクール、ブゾーニ国際コンクール、マリアカナルス国際ピアノコンクール、ドラノフ国際コンクール、ブラームス国際コンクールなど数多くの国際コンクール受賞者を輩出し、ドイツ国内をはじめヨーロッパ各地、ロシア、韓国、日本など各国の音楽大学で指導者として活躍する弟子達が多い。彼の指導法には論理的且つ、音楽的なアプローチが見事に合わさっている。RMピアノ音楽合宿の過去受講生もマイスター教授の下へ数多く留学している。また、受講生の留学先はマンハイムだけでなく、ベルリン、ハノーバー、ミュンヘン、フライブルク、ウィーン、ザルツブルク、ロンドン、バーゼル、ジュネーブ、ハンガリー、イモラ等各国で研鑽を積んでいる。

マイスター教授のレッスンの様子は下のQRコードのレッスンレポートからご覧いただけます。



過去にレッスンを受講された方の声を掲載しています。

チラシ裏面

海外音楽大学教授による特別レッスン

ドイツ・マンハイム音楽芸術大学 学長

ルドルフ・マイスター 教授

ピアノレッスン受講参加募集

2026年

3月8日(日) 9日(月)

Rudolf Meister Piano Masterclass

毎年恒例となっている魚沼市響きの森文化会館(旧小出郷文化会館)で開催されるルドルフ・マイスター教授によるピアノ音楽合宿。そのマイスター教授を招き、ベヒシュタイン・セントラム東京(日比谷ザール)にてピアノレッスンを開催いたします。マイスター教授の門下生の中にはソロ、ピアノデュオ、室内楽の国際コンクール入賞者を輩出し、ドイツ国内をはじめ東欧、ロシア、韓国、日本等各国の音楽大学で指導者として活躍する生徒が多くいらっしゃいます。留学、コンクール、コンサート前、普段のレッスンのブラッシュアップとして、是非この機会をご活用ください。

2026年3月8日(日)			2026年3月9日(月)		
1)	10:00-11:00	非公開レッスン Closed Lesson 会場:スタジオC	8)	10:00-11:00	公開レッスン Opened Lesson 会場:スタジオB
2)	11:10-12:10		9)	11:10-12:10	
3)	12:20-13:20		10)	12:20-13:20	
4)	14:30-15:30		11)	14:30-15:30	非公開レッスン Closed Lesson 会場:スタジオC
5)	15:40-16:40		12)	15:40-16:40	
6)	16:50-17:50		●ピアノソロの他、連弾、室内楽や2台ピアノでの 受講も可能です。		
7)	18:00-19:00				

受講特典

スタジオ半額利用券の進呈
レッスン受講証明書の進呈

受講料

公開レッスン(1枠/60分)
一般 32,000円 学生 27,000円
非公開レッスン(1枠/60分)
一般 35,000円 学生 30,000円

通訳料

5,000円 (ドイツ語から日本語の予定)

聴講料

2,000円 全て税込

申込開始

2025年12月19日(金)AM11:00～
メール、右記Googleフォーム(QRコード)で受付(先着順)
MAIL: klavierschule@bechstein.co.jp



アクセス

東京メトロ・都営地下鉄 日比谷駅
A9出口より直結
JR線 有楽町駅 日比谷口より徒歩5分
〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-5-1
日比谷マリンビルB1F
TEL: 03-6811-2935



レッスン希望枠	第1希望)	第2希望)	第3希望)
通 訳	有 ・ 無	(教授はドイツ語と英語、フランス語、イタリア語を話されます。)	
受講曲			
ご氏名	ご職業・学校		
ご住所	〒		
電話番号	生年月日	年	月 日
E-MAIL	@		

レッスン受講生の声



私はマイスター教授と出会って四半世紀です。そして未だに私は彼から多くを学び続けています。それは何を意味するかというと「自問する」ということです。一見、論理的な面が強く感じられるレッスンに映るかもしれませんが、彼が博識なことは言うまでもありませんが、それらは深掘りしていくために必要な要素であり、そこから先が我々演奏家にとって大切なのだと思います。知ることにより疑問が沸き、知らないことにより不安も生まれ、できないことに何故かと問いかける。自分を伸ばす力を見出すレッスンとも言えます。決して妥協をせず、受講生一人一人に寄り添って一緒に音楽に向かってくださる温かいお人柄です。多くのリピーターの受講生がいるのはそれらの現れなのではないでしょうか。(I様)

『マイスター先生のレッスンの魅力』

学生だった時の私は音楽を創るということを深く捉えていませんでした。そんな時マイスター先生のレッスンを受講し、欲しい音を生み出すための身体の使い方や楽譜を丁寧に読み込む大切さなど様々なことを教えていただきました。「演奏する」という時に細部までこだわるのが当たり前で、その当たり前のレベルの高さと考えの深さに驚かされました。先生のレッスンはとても理論的で、そこには必ず理由があるため大変分かりやすいです。演奏家・教育者としてのご自身の豊富な経験も惜しみなく伝えてくださり、愛情深いお人柄が音楽にもレッスンにも表れています。そんなレッスンから得たものは音楽の道を進んでいく上での指針となり、何年経っても自分の中での当たり前であり、基礎になっています。皆さんにもぜひ一度体験していただきたいです。(S様)

マイスター先生のレッスンの魅力の一つは、楽譜をよくよく読む事を徹底されることです。

作曲家がどういう意図で記譜したのか理解する事、更に曲が作られた経緯・時代背景も知る事で音楽全体の理解が深まります。二つ目は、体の使い方の指導。指先から手首、腕、肩、背中と、様々な響きや強弱、アーティキュレーションに応じた体の動かし方を論理的に学べます。そしてそれらを生徒が本当に理解できるまで、根気よく説明して下さいます。一回のレッスンで数小節しか進まないこともあります。基礎を確実に理解・習得することで、後に自分で応用できるようになります。(K様)

留学を控えた音大生やリピーターに混じっての初参加は第7回合宿でした。私は既に30代でしたが、先生は若い方々と分け隔てすることなく、音楽的且つ的確な技術を、わかりやすい説明と実際の演奏で示して下さいました。根気強い丁寧なご指導のもと第23回で賞をいただきコンサートを企画していただけたとは、当初は想像もしませんでした。中学生から初老の方まで、演奏家、ピアノ教師、他の職業を持つ人等さまざま。それぞれ目標を抱いて勉強すれば先生はどこまでも誠実に、惜しまず力を貸して下さいます。受講生同士生活を共にすることで刺激もいただき、人生勉強にもなりました。必ず得るところがあるので、一度でもレッスン体験されることをお勧めします。(A様)

音楽合宿は、第2回が初参加でした。

素晴らしい響きの大ホールで、ベヒシュタインとスタインウェイのフルコンサートグランドピアノを使っているレッスン、親切なスタッフや様々なサポートして下さる地域の方々のおかげで、毎回充実した環境の中で過ごさせていただいております。第24回からはレッスンの動画配信が始まり、来場しなくても聴講でき、レッスンの振り返りにも役立っています。最終日の修了演奏会以外にも地元の小中学校や施設で演奏させていただいたこともありました。マイスター教授のレッスンは論理的で、音楽性豊かな演奏ができるよう指導していただけます。他の受講生のレッスンを聴講する事で、自分の学びにも繋がります。東京のベヒシュタイン・ジャパンのオンライン試弾のシステムを用いて、ドイツとオンラインで繋いでレッスンをしていただける機会もあり継続して学べる環境に感謝しています。(M様)

マイスター先生のレッスンの魅力は、なんといっても先生が素晴らしい演奏家でありながら優れた教育者であることでしょう。先生の演奏は、伝統に基づいた深い楽曲理解、豊かな音楽性と高度な技巧に裏付けられた説得力のあるものです。レッスンでは常に一人一人と真摯に向き合い、目の前の生徒に必要なことを瞬時に見抜き、今できることを的確に判断し、根気よく指導して下さいます。作品を様々な面から理解して演奏することの大切さは、先生の博識ぶりに触れることで痛感させられます。先生から作曲家や作品のみならず、当時の芸術文化や社会的歴史的背景などの知識を得たことで、生徒の音楽が豊かで明確になる場面に何度も遭遇しました。曲の解釈に基づいた多彩な音の出し方や練習の仕方なども、具体的かつ論理的に指導して下さいます。(T様)